



至誠・致知・鍛錬

北杜市立高根中学校
学校だより
発行 校長 中村 忍
令和2年度 第12号
1月12日発行

「心のバネをつくる（こころのばねをつくる）今この瞬間を前向きな気持ちに切り換え、次に大きな飛躍を遂げるためのエネルギーとして蓄えること」人生の長距離ランナーとして、自分らしく上り下りのある道を走り抜け、人として最高のゴールテープが切れるようにしていきたい。



「年始に思うこと」 ～未来のために希望の種をまく人～

おとなの一年の締めくくりには、「忘年会」といって、一年間の嫌なことや失敗したことを忘れてしまえという会がある。また、年明けには、気持ちも新たにして頑張るぞと「新年会」なるものを行う。なんだか、おとなの身勝手な都合にも思える。

しかし、これって、もしかしたら、素晴らしい風習なのかもしれないと、最近つくづく思うようになった。なぜなら、人は過去の苦い経験を引きずってしまうことが多いからである。挑戦して、失敗したら、なぜ失敗したかを反省し、次に生かせばよいと誰しもが思っている。しかし、いざ行動に移そうとすると、またやらすのではないかと、過去の失敗が頭をよぎる。これがよくない。「取り越し苦労はない」（シーザー／2000年以上前のローマの政治家）が言うように、新しい挑戦に打ち込むためには、過去の間違いは、キッパリ忘れることが必要だと思った。

これは、教師をする自分にも通じるものがある。それは、教師の人間力で、子どもたちの負の重みを軽くしてあげることにつながるからだ。これが、なかなかできていない。いつまでも、子どもたちの失敗に目をやりすぎて、新たな方向に思考回路を切りかえることができないことがある。子どもたちの中に眠れる素晴らしい才能を掘り起こすのは、賞賛と励ましのはずである。なのに、過去となった過ちを振り返り、いつまでも気にかけてばかりでは、子どもたちの未来には繋がらない。子どもたちが、くじけることがあっても、希望の星を見失わないように温かい言葉かけをして、かすかに見える希望の星が一段と輝きを増し、再び立ち上がるようにしむけるのが教育者の仕事だと思う。非難しすぎることはない、やわらかい知性をもった教師として、子どもたちの心のエネルギーとなるように支えていきたい。

子どもたちの若々しい行動や姿は、まわりに元気を与え、未来を明るくしていく。子どもたちの未来こそ、われわれ大人の希望である。子どもたちを元気にすること、笑顔にすることが教師の喜びであり、教師のエネルギーとなる。

「子どもたちに元気と笑顔を届け、
子どもたちの未来のために希望の種を蒔き続ける教師でありたい」



「アンサンブル発表会」

12/16（水）の昼休みの時間を利用して、体育館で吹奏楽部がアンサンブル発表会を開催しました。管楽打楽器8重奏「オルケソグラフィ 舞踏曲集」を高根中生の前で発表しました。

また、12月20（日）には、県民文化ホールで山梨県アンサンブルコンテストが行われ、見事、金賞に輝きました。山梨県代表（54校中）として、2月に群馬県高崎市で開催される西関東大会への出場が決定しました。



「書き初め大会」

1/8（金）に、全校で書き初め大会を実施しました。昨年の暮れから書写の時間に、講師として、元長坂中校長 滝田 家功 先生にご指導をいただきながら練習をしてきました。

優秀な作品は、学校代表として教育祭書き初め大会に出品されます。毎年、高根中では、たくさんの方が入賞しています。

澄み切った心の鍛錬にも役立つ書道を通じて、人間力を高める一助にしていきたいと思っております。



「第3学期始業式」

1/8(金)に、第3学期始業式を行いました。
 いよいよ3年生は卒業に向けて、2年生は最高学年に向けて、1年生は先輩としての姿づくりに向けて、取り組んでいく3学期となります。
 始業式では、「人としての生き方」について、以下の2点の話をしました。

○「心のキャッチボールをする」

(星野 仙一 プロ野球監督)

選手が取りやすい体の中心へ言葉を投げる。曲がって返ってくる
 選手を言葉を体を動かして心の中心で受け取る。この監督と選手の
 やり取りは、観客もファンも知らなかった。

～ 友だち、家族、先生と心のキャッチボールで会話してほしい ～

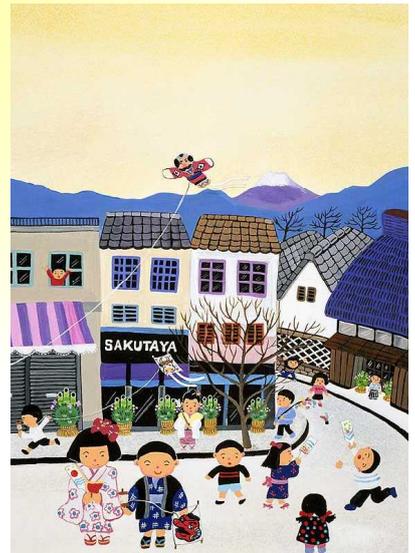
○「各駅停車のおかげで特急列車が走れる」

(大沢 悠里 TBSアナウンサー)

みんなが特急列車になってしまったら、とばしてもしょうがない。
 特急列車が目立つのは、全ての駅に人を運んでくれる各駅停車がある
 のおかげ。これは、新人アナへの言葉。

自分が輝けるとすれば、それは、目立たないでまわりで支えてくれる
 人がいるおかげ。

～ まわりに感謝できる人となってほしい ～



「新生徒会役員委嘱式／引き継ぎ式」

12/25(金)に、令和3年度新生徒会役員
 の委嘱式と引き継ぎ式が行われました。

新生徒会長の三浦 琶子さんから、5名の
 新生徒会役員に委嘱状が手渡されました。また、
 引き継ぎ式も行われ、新役員に生徒会活動がバト
 ンタッチされました。チーム高根中として活躍を
 期待したいと思います。

副会長	2年 坂本 佳晴
会長	2年 三浦 琶子
副会長	1年 濱田 倅多
役員	2年 川村 真
	2年 利根川 彩乃
	2年 植松 楓羅
	2年 望月 優真
	2年 油井 とあ
	1年 大柴 愛加



全校レクリエーション大会

12/25(金)に、現生徒会最後の行事とし
 て全校レクリエーション大会を実施しました。

全校生徒から内容を募集し、生徒会役員が検討
 企画して「逃走中」を行いました。

いくつかミッションも企画され、先生方も参加
 する中で、ハンターとの逃走劇が演じられました。

3年生と共に全校で最高の楽しい思い出づくりに
 することができました。



表彰等

山梨県アンサンブルコンテスト	管楽打楽器八重奏	金賞	西関東大会出場(群馬県開催)
山梨県U15バスケット連盟	峡北支部優秀選手	3年 鳧崎 健太	3年 清水 かおる
峡北地区バスケットボール協議会	優秀選手	3年 小須田 響葵	3年 浅川 莉緒
全国PTA広報紙コンクール	奨励賞	高根中学校PTA	
西関東吹奏楽連盟表彰	3年 米森 美羽		
山梨県U14バスケット育成選手	3年 小林 弓弦		
山梨県中学総体	スキー男子大回転	第1位	1年 熊野御堂 健
	スキー男子回転	第2位	1年 熊野御堂 健
	スキー男子団体	準優勝	高根中学校
山梨県中学選手権	スキー男子回転	第1位	1年 熊野御堂 健

「チーム高根中」

教職員29名 生徒201名 保護者189名が

「チーム高根中」として取り組んでいます。

学校住所：〒408-0019 北杜市高根町村山東割98

電話：0551-47-2026 FAX：0551-47-2075

新ホームページ <http://takanejhs.main.jp> もご覧ください。